



氏小だより



大志ちゃん

令和6年9月17日発行

発行者 氏家小学校長

よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子 すべての子どもが輝く学校

～夏休み明け 元気な子どもたちとともに学校がスタート～ ご家庭の協力に感謝

37日間眠っていた学校に児童の声が響き、学校が一気に活気づきました。夏休みの思い出を抱え、日に焼けて一回りたくましくなった子どもたちに会えて、大変嬉しく思います。あらためてご家庭の皆様にご感謝申し上げます。

1学期も残り1ヶ月となり、10月5日には運動会も控えています。これからは、前半の学びが学年段階の児童の成長につながる時期です。今後も、全職員で児童の学校生活の充実に努めていきたいと思ひます。

さて、夏を全力で過ごした体は、意外に疲れているものです。しばらくは、児童の健康管理にご配慮願ひます。

氏小元気アップ(早起き編)

規則正しい生活習慣を身につけられるよう、夏休み明けの8月28日～9月6日まで、「氏小元気アップ」を実施しました。校内放送で、養護教諭や保健委員の児童が生活習慣の大切さを話したりクイズを出したりしました。9月2日から1週間は、早起きチェックを行いました。児童が自分の生活習慣を振り返る機会をもつことによって、よりよい生活習慣を身につける大切さを知り、意欲や実践につながってくれることを期待しています。

【クイズ○×問題の内容】

- Q1: 平日に睡眠が足りなくても休みにたくさん眠れば大丈夫。 答え×
- Q2: しっかり眠る方が、勉強や運動の記憶が頭や体にのこりやすい。 答え○
- Q3: 体を動かすことは、生活リズムを整えることにつながる。 答え○



児童の活動渋りや登校渋りは「やりにくさ」のサイン ～家庭と学校ができること～

★学校生活には、たくさんのエネルギーが必要！

夏休み明けは、始まりへの期待と不安が入り交じって、心のバランスがとりにくい時期です。また、家族と密接に過ごした日々が終わり、自分ひとりで頑張る学校生活には心細さがつります。その不安から自分の心を守るために、子どもは行動を抑制します。それが、活動渋りや登校渋りとなって現れます。そんな時は、子どもの頑張るエネルギー（自己肯定感）が下がっているサインです。そもそも学校生活には大きなエネルギーが必要です。できることが当たり前ではなく、子どもたちがとても頑張っているから学校生活がおくれるのです。エネルギーがなければ、子どもたちは頑張れません。子どもたちのエネルギー（自己肯定感）を高めるために、大人は何をするべきでしょう。

★不安を否定しないで！必要なのは愛情の確認と安心感！

元気がない子どもには、ついつい「がんばりましょう。」と声をかけたくなりますね。でも、まずは不安を受け止めて「不安なんだね」「わたしががついているよ。」と言ってあげてください。心に寄り添ってもらえたことで、子どもたちはとても安心します。そして「〇〇のことが大好きで大切だよ。」と抱きしめてください。人間も動物です。理屈抜きで、まずはスキンシップが愛着の始まりです。そして、「心配いらないよ、一緒に考えよう。」と伝えてあげてください。身近な大人の愛情を確認すれば心に安全地帯ができ、少しの不安に対して耐性ができてきます。

★やりにくさを軽減し、自己肯定感をたかめよう！

その上で、お子さんをよく観察してください。なにか「やりにくさ」があるのかもしれませんが、①学習の遅れ ②対人関係 ③不器用さ ④強いこだわり ⑤表現力不足 ⑥経験不足 ⑦見通しのもてなさ など。学校と家庭で連携してやりにくさを一つ一つ取り除いたり、スキルを養ったりしてあげられればと思います。大人が連携して自分のことを考えてくれる姿を見れば、自分を大切な存在だと感じるでしょう。更に大切なことは、子どもたちがチャレンジしたことや頑張ったこと自体を心から褒めることだと思います。褒められることは、自己肯定感の源です。

★ハッピースマイル活動 9月4日・11日・18日★

福祉委員会が中心となって、SUNさんサポート隊ジュニアの児童（ボランティアの児童）が、昼休みに学校の環境をきれいにする活動をしています。日頃から高学年の児童は、学校のために様々な委員会活動を熱心に行っています。福祉委員会では、人のためになる活動を考え、他の学年の児童と一緒に環境整備活動を行ったり、1年生と遊んだりしています。そのようなボランティアの心が、これからの共生社会を生きていく、氏小の児童全員に育ってくれるとうれしいと思い、我々も指導にあたっています。



★水害に備えた避難訓練 9月4日★

ここ数年の夏の暑さや国内外の災害を振り返ると、過去と比較して「異常気象」と認識するのではなく、進行形の「気象の変化」に備える生活を続けていかねばならないと感じています。市のハザードマップを参考に、水害に備えた垂直移動の避難訓練を行いました。災害ごとの知識や行動力を養う機会は重要と考えます。



★10月5日の運動会に向けて練習が始まりました！★

紅白の組み分けや応援団の児童も決まり、運動会の練習がスタートしました。どの学年も、児童は個人競技と団体競技の2種目に参加します。児童会でスローガンも決定し、705名が紅白に分かれて競技します。運動会はチーム戦です。運動会の当日もさることながら、練習をとおして、児童はチャレンジすることや、勝ち負けよりも大切なことを学んでくれることでしょう。保護者や地域のみなさまの応援をよろしくお願いいたします。

運動会のスローガン

「仲間を信じ 最後まで 燃やせ 氏小魂」



★5年生臨海自然教室 9月12日～13日★

宿泊学習で、茨城県にある「とちぎ海浜自然の家」に一泊し、塩づくり体験や海浜スコアオリエンテーリングなど様々な活動を行いました。思いやり・友情・規範意識などは、集団の中で身につくものですし、自然や文化に触れる非日常の体験も、仲間と一緒にならより感動的に児童の心に残ります。大人になっても覚えているほどです。

行く前は、友達との入浴や宿泊に不安をもっている児童もいましたが、二日間の体験が、子どもたちに自信をつけてくれました。事前の指導の中で、「まずはやってみなはれ。みんなとやれば、失敗も楽しいもの。それを笑い合い、励まし合えるのが友達。」と、話しました。「案ずるより産むが易し」児童の吸収力はすばらしいです。



夏休み明けの朝、登校する児童と一緒に歩きながら、「夏休みは何していたの。」と聞くと、「大きなプールに行つた。」「流しそうめんをやつた。」「ダムを見つけた。」「従妹と会つてたくさん遊んだ。」などいろいろな答えが返つてきました。「ウオーターライダー楽しかった?」「流しそうめん、もう四十年くらいやってないかも。うらやましい。」「ダム、壮大でロマンがあるね。」などと話しながら、子どもたちを何とか楽しませようとする、ご家族のみなさまの工夫とご苦労が感じられました。

私もその昔、夏休みの間、子どもと一緒に宿題に取り組んだり、子どもたちを楽しませるイベントや体験の計画に躍起になったりしていたのを思い出します。氏小の子どもたちは、様々な体験を通して、夏のあいだに、心も体も成長したように見えます。親は、大変ですが、子どもたちにとっては、心に残るプライスレスな思い出になったことでしょう。ぜひお子さんと遊べる今を楽しんでください。保護者の皆様、夏休み本当にお疲れさまでした。



夏過ぎて 小麦色した子に戻る
ハンゲいっしょ 思いやりさん

校長室の窓から

児童の日々の活動をぜひご覧ください。下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

